

2026年全日本ラリー選手権統一規則

第1章 大会告知

第1条 競技会特別事項

本選手権競技会のオーガナイザーは当該競技会の特別規則に本統一規則第1章の各項目を明記すること。

また、特別規則の内容は本統一規則の内容に相反したり、また重複しないこと。

○競技会の定義および組織

2026年JAF全日本ラリー選手権第〇戦「[競技会の名称]」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則およびその細則、2026年日本ラリー選手権規定、2026年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定および本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。

○プログラム（略）

1. 参加申込の開始日時：
2. 参加申込の締切日時：
3. レッキの受付日時および場所：
4. 参加確認の日時および場所：
5. 公式車検の日時および場所：
6. 審査委員会の日時および場所：
7. ブリーフィングの日時および場所： [開催する場合は記載すること]
8. スタートの日時および場所：
9. 各レグのスタートリスト発表日時および場所：
10. リスタートの出走申請締め切り日時および場所：
11. 暫定結果の発表日時および場所：（予定）
12. 表彰式の開催日時および場所：（予定）

[※タイムスケジュールの詳細を記載する場合は、上記または別途記載すること]

例) 〇月〇日 (〇) [※別途定める場合]

〇〇：〇〇～〇〇：〇〇 項目

○競技会の名称

2026年JAF全日本ラリー選手権第〇戦 ○〇ラリー2026

○競技の格式

JAF公認：国内競技 JAF公認番号2026年〇〇〇〇号

○競技種目

ラリー競技開催規定の細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

○開催日程および開催場所

2026年〇月〇日 (〇) ～〇月〇日 (〇) の〇日間

〇〇県〇〇郡〇〇町周辺

ラリースタート：

ラリーフィニッシュ：

○競技会本部（HQ）

[※レイアウト図は、細則にて記載すること]

○コース概要

スペシャルステージ：[舗装（アスファルト、ターマック等）／未舗装（グラベル等）／積雪（氷結路面を含む）]

総走行距離：○○○k m（予定）

スペシャルステージの合計距離：○○○k m（予定）

※スペシャルステージの数：

※セクションの数：

※レグの数：

[※競技会までに変更が生じた場合は、公式通知にて訂正すること]

○オーガナイザー

オーガナイザーの名称：

所在地：〒

代表者名：

[共催の場合3クラブまでの名称を記載すること]

○組織

1) 大会役員 [必要に応じて記載]

・大会会長： 大会副会長：

2) 組織委員会

・組織委員長： 組織委員：

組織委員： 組織委員：

3) 競技会主要役員

(1) 競技会審査委員会

- ・競技会審査委員長： (J A F 派遣)
- ・競技会審査委員： (J A F 派遣)
- ・競技会審査委員： (組織委員会任命)
- ・技術アドバイザー： (J A F 派遣)

[※J A Fは技術アドバイザーを認定する。技術アドバイザーは常時競技長、技術委員長と協議しながら役務を遂行する。

技術アドバイザーの義務(役務)は、適用車両規則や車両検査に関する項目について、シリーズを通した独自の判断に基づく提言を競技長および技術委員長に行ない、大会における適用車両規則や車両検査基準の平準化を図るものとする。ただし、技術アドバイザーは適用車両規則や車両検査基準に関する最終的な判断を下す権限を競技長および技術委員長に委譲する。]

(2) 競技役員

- ・競技長：
- ・副競技長：
- ・コース委員長：
- ・計時委員長：
- ・技術委員長：
- ・救急委員長：
- ・医師団長：
- ・事務局長：

(3) コンペティターズリレーションズオフィサー (CRO)：

4) オブザーバー： (J A F 派遣)

○参加申込受付期間

・受付開始： [※プログラムと同様]

- ・受付締切： [※プログラムと同様]

○参加申込および問い合わせ先（大会事務局）

- ・事務局： [※当該年日本ラリー選手権規定第11条に従うこと]
- ・所在地：〒
担当者名：
TEL： FAX：
e-mail： [※公開できる場合には記載すること]
- ・提出書類：
[※参加申込書、車両申告書、サービス員登録書等の必要な書類を記載すること]
所定の用紙に必要事項を記入し、以下の参加料を添えて参加受付期間内に上記までに申し込むこと。
 - ・参加料：
 - ・レッキの参加料：
 - ・サービスカー登録料：
 - ・サービス員登録料：
 - ・その他（任意保険代、宿泊料等）：[※エントリー拒否に伴い事務手数料を差し引く場合、参加車両やコ・ドライバーの変更、再車両検査等により事務手数料を徴収する場合は、該当する項目および料金を記入すること]
- ・支払い方法：
[※振込みの場合は、銀行名、支店名、口座番号、口座名義を記載]

○クルー及び参加車両の変更

クルー及び参加車両の変更については、ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定第1章第6条に従うこと。

○保険

2026年日本ラリー選手権規定第18条に基づき、対人賠償保険または共済等（無制限／〇〇〇万円以上）および搭乗者保険または共済等（無制限／〇〇〇万円以上）に加入していること。

[※上記金額を決定し明記すること]

○音量規制

[※オーガナイザーがマフラーの音量を制限する場合、「マフラーは当該車両の純正品とする。」等を追記すること]

○参加台数

総参加台数： _____ 台 [90台を上限とする]

○レッキの実施方法

[※1. 具体的な実施方法が記載できない場合は、「レッキのタイムスケジュール、実施の詳細はインフォメーションにて示す。」を必ず記載すること]

[※2. レッキに使用する車両、タイヤを制限する場合はその旨記載すること]

○タイヤおよびホイール

装着するタイヤ・ホイールは、全日本ラリー選手権統一規則第6条に従うこと。また、本競技会で使用できるタイヤの本数は〇〇本までとする。

[※1. 競技会で使用できる最大本数の算出方法]

- ・舗装（アスファルト、ターマック等）スペシャルステージにおける最大本数は、その距離に関わらず一律10本とする。
- ・未舗装（グラベル等）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、12本とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。
- ・積雪（氷結路面を含む）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、8本とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。

[※2. 以下の条文を記載すること。]

- ・本競技会では、使用する全てのタイヤのサイドウォールに競技車両番号をマーキングする。併せてスペアタイヤについては、トレッド面にもマーキングを施すものとする。なお、当該競技会中における未使用のタイヤについては、技術委員長の許可を得ることにより、新たにマーキングされた他のタイヤへ交換が許される。

○セレモニアルスタート／フィニッシュ

[※1. セレモニアルスタート／フィニッシュを設定する場合はその旨記載すること]

[※2. 詳細が記載できない場合は、「詳細はインフォメーションにて示す。」と表記すること]

○タイムコントロール

公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。

[※各デイの最後のコントロール（その直前にサービスパークがある場合はその出口のコントロール）について、タイムペナルティを与えない場合は、その旨記載すること]

○スペシャルステージ

1) 計測は、印字機能を持つクロノメーターにて1/10秒まで計測する。

2) スタートは、スタートリスト順または直前のTC通過順に1分間隔とする。

[※1. 1分以上設ける場合はその旨記載すること]

[※2. 観客対応等の観点から、競技の一部区間について特別な出走順とすることが必要と判断した場合はその旨記載すること]

3) スタートの方法および合図は、ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定第3章第29条6. に従って行う。

[※スタート灯火信号を使用する場合は、故障時の対応も含め詳細を細則5. にて記載すること]

4) 上記1) から3) に該当しないスペシャルステージを設ける場合、予めJAFの承認を得たうえで、細則7. に記載すること。

○整備作業

1) 整備作業の監督を担当する競技役員名：

2) 整備作業を行うことができる場所：

3) サービスカーの管理方法：

4) ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定第3章第17条サービス（整備作業）に該当しないサービスを設ける場合、予めJAFの承認を得たうえで、細則8. に記載すること。

○賞典

JN-1クラス 1位～3位 JAF楯

JN-2クラス 1位～3位 JAF楯

JN-3クラス 1位～3位 JAF楯
JN-4クラス 1位～3位 JAF楯
JN-5クラス 1位～3位 JAF楯
JN-Xクラス 1位～3位 JAF楯

[※1. 副賞がある場合はその旨記載すること]

[※2. 副賞を制限する場合、「JAFの賞典を除き、参加台数の…を下回らない範囲で賞典を制限する」等を記載すること。この場合、正式な数を記載した公式通知を発行し、参加受理書に同封すること]

○その他

1. 全日本ラリー選手権対象外の車両を参加させる場合には、下記事項の何れかに従うこと。

1) 当該特別規則に追加する場合には、以下の項目を必ず記載すること。

①参加料等：

②参加車両：

③音量規制： [規制する場合のみ記載すること]

④クラス区分：

⑤参加資格：

⑥賞典：

2) 当該特別規則に追加しない場合、または異なるアイテナリーに基づき走行するクラスを併催する場合には、別途特別規則を作成すること。

2. その他 [必要に応じ記載すること]

○細則

オーガナイザーは、必要に応じ以下の細則を発表しなければならない。

細則1. アイテナリー

[※1. 本細則のアイテナリーはあくまでも予定である旨記載すること。例) Ver.1 …、Vol.1 …等]

[※2. 最終のアイテナリーの発表は、参加確認受付時に配布するか、公式通知にて告知すること]

細則2. レッキのスケジュール

細則3. コンペティターズリレーションズオフィサー (CRO)

[※顔写真、行動予定表等を記載すること]

細則4. HQレイアウト、サービスパークのレイアウト等

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

細則5. 信号灯によるスタート手順

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

細則6. ゼッケンおよび広告

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

細則7. スペシャルステージ (○スペシャルステージの4) を設ける場合)

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

細則8. サービス (○整備作業の4) を設ける場合)

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

[競技会名称]
大会組織委員会

第2章 競技参加に関する基準規則

第2条 参加車両

1) 当該年の日本ラリー選手権規定第7条に従う。

2) 6点式以上のFIA公認安全ベルト (FIA 基準 8853-2016 に合致した物) を装備

していること。

- 3) RPN車両のロールケージは、6点式+左右ドアバーを基本構造とし、第1章一般規定第5条に従い換算した後の気筒容積が2,000ccを超える車両については少なくとも1本の斜行ストラットを取りつけたロールケージを装着すること。
- 4) 参加車両の最低重量は、夫々に定められた車両重量値とクルー（ドライバー+コドライバー+全装備品）を合わせた最低重量は車両重量+160kgでなければならない。
- 5) すべての参加車両はFIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第253条11.1.1に従い、側面及び後部のウィンドウに飛散防止フィルムを貼り付けること。
- 6) クルー2名の名前をリアのサイドウィンドウ又はその付近に貼付する場合は、ドライバーの名前を上、コ・ドライバーの名前を下にし、エントリーリストに掲載された正式な名前を使用すること。書体や大きさ、貼付位置に関しては、FIA地域ラリー選手権規則に準じたものとすることが望ましい。

第3条 クラス区分

当該年の日本ラリー選手権規定第8条に従う。

第4条 参加申込方法および参加受理

- 1) 所定の参加提出書類に署名捺印の上、参加料等を添えて、大会事務局まで送付すること。
- 2) 参加車両名は必ず車両名（型式ではなく通称名：GRヤス、BRZ等）を入れること。
- 3) 組織委員会が参加申込者に対し当該年の日本ラリー選手権規定第19条に基づいて参加を拒否した場合、参加料等は返金される。
なお、正式受理後の参加料は、オーガナイザーの都合で競技会を中止した場合を除き、返金されない。
- 4) 参加受理の諾否は参加受理書にて通知する。
- 5) 参加者は、参加申請が受理された後、不可抗力により参加できない時は、参加確認受付終了までにオーガナイザーにその旨を連絡しなければならない。

第5条 参加者に対する指示および公示

競技会審査委員会および組織委員会の決定事項または公示、あるいは参加者に関する特別事項も書面をもって参加者に伝達される。

第6条 タイヤ及びホイール

装着できるタイヤ・ホイールは、車両のクラス区分に従って定められる下記の最大直径および最大幅とする。

1) ホイール

クラス1 (JN-1) : FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第261条801項に従うこと

クラス2 (JN-2) : FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第260条801項に従うこと

クラス3 (JN-3) : 最大直径 18インチ 最大幅 8インチ

クラス4 (JN-4) : 最大直径 18インチ 最大幅 7.5インチ

クラス5 (JN-5) : 最大直径 18インチ 最大幅 7インチ

環境対応クラス (JN-X) : 最大幅 8インチ

2) タイヤ

舗装（アスファルト、ターマック等）スペシャルステージとして認定された競技会の場合、使用できるタイヤは以下を満たすものとする。

クラス1 (JN-1) : 最大幅リム/タイヤの組み立て品の幅は9インチとし、直径650

ミリ以下とする。

クラス2 (JN-2) : 最大幅リム/タイヤの組み立て品の幅は8インチとし、直径650ミリ以下とする。なお新規クラスの経過措置として、2026年においては最大幅225ミリ (タイヤに刻印されたサイズ) とする。

クラス3 (JN-3) : 最大幅 235ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

クラス4 (JN-4) : 最大幅 225ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

クラス5 (JN-5) : 最大幅 215ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

環境対応クラス (JN-X) : 最大幅 235ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

※「ミリ」は「ミリメートル (mm)」のことをいう。

※JAF は予告期間をもって変更する権利を留保する。

・クラス1 (JN-1) およびクラス2 (JN-2) で使用できるタイヤはFIA公認タイヤ、またはこれと同等な公道走行が認められている一般市販タイヤとする。

・FIA公認ターマックタイヤに対するタイヤカットは認められる。ただし、使用済みのタイヤへのカットは不可とする。

・全般的に下記事項を満たしたタイヤを使用すること。ただし、下記(1)による縦溝のみを有したタイヤの使用は認められない。

(1) タイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。

(2) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ (スリップサイン) が出るまで維持されていること。

第7条 安全装備

1) クルーが着用するもの :

当該年国内競技車両規則第4編細則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する細則に従ったヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。また、グローブも着用すること (コ・ドライバーは任意)。

なお、FIA公認のFHRシステムについて、全日本選手権ではその着用を必須とする。FHRシステムの着用に伴うシートベルトの取り付けに関しては、FIAガイドライン (『Guide and installation specification for HANS® devices in racing competition』または『Guide and installation specification for Hybrid & Hybrid Pro devices in racing competition』) を推奨する。

JN-1 クラスに参加するクルーについてはFIA国際モータースポーツ競技規則付則L項第3章ドライバーの装備品に従う事。それ以外のクラスに参加するクルーについても強く推奨とする。

2) 参加車両に搭載するもの :

(1) シートベルトカッター2個 (推奨)。クルーそれぞれに対して、シートベルトやヘルメット、FHR等を正しく装着した状態で手の届く場所に固定する。

(2) JN-1クラスを除き、当該年の国内車両規則に定める消火装置に加えて、更に1本の同規則に定める手動消火装置の搭載を強く推奨する。車体から取り外し、自車以外の消火活動に使用できるものとする。

第8条 車両検査

1. 競技会技術委員長は、公式車両検査を実施する。

また、公式車両検査に参加車両を提示することは、当該車両がすべての規則に適合し参加申告したものとみなされる。

2. 参加者は出走可能な状態で特別規則書または公式通知に示されるタイムスケジュールに従い指定の場所で公式車両検査を受けなければならない。

公式車両検査で不合格の場合、公式車両検査を受けない場合、または競技会技術委員長の修正指示に従わない場合は当該競技に出走できない。

3. すべての参加者は公式車両検査と同時にラリー競技開催規定に従った服装、装備、備品

について検査をうけること。

4. JAFが指定した競技番号（ゼッケン）および広告は公式車両検査前までに参加車両の両側面と前面の3箇所に貼付されていなければならない。前面の競技車両番号はオーガナイザーが別途指定するものに代えることが認められる。

なお、競技中に外部から視認できるよう維持されていること。

5. 競技会技術委員長は、参加車両の改造等が不相当と判断した箇所について修正を求めることができる。修正を命じられた車両は、修正の後再度車両検査を受けなければならない。

6. 競技会技術委員長は競技期間中いつでも参加車両およびクルーの参加資格について検査することができる。

7. 競技会審査委員会の承認のもと、競技会技術委員長は、競技終了後上位入賞車両に対し最終車両検査を実施する。当該検査の対象となった参加者はその指示に従うこと。

8. 競技会技術委員長が行う検査および再車両検査の分解および組み付けに必要な工具、部品、必要経費はすべて参加者の負担とする。

万一、当該検査を受けない場合または検査の結果不合格の場合は、競技会審査委員会の裁定により失格となる場合がある。

9. 参加者は、技術委員の求めがあれば各自の参加車両が車両規定に適合している旨を証明するため、車両規定に定める証明資料等を提示し証明しなければならない。

10. 参加者は、ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定第3章第17条2.に基づき、公式車両検査合格後に競技会技術委員長の許可を得て参加車両の調整、変更、交換作業を行った場合は、作業が終了した後に競技会技術委員長に申告して車両の規則適合性について再確認を受けること。

11. 参加者は、競技走行中に車両の安全性が損なわれたと判断した場合は、競技会技術委員長に申告してその安全性について確認を受けること。

第3章 競技に関する基準規則

第9条 スペシャルステージ

1. スペシャルステージの安全

天候の急変による路面状況の変化ならびに車両がコースを逸脱した場合に重大な危険を招くことがないようにクルーの安全性を考慮した適切な場所に設定すること。競技会審査委員会が危険と判断した場合、当該スペシャルステージの走行を中止する場合がある。

スペシャルステージ内の状況把握および安全管理のためトラッキングの実施を義務付ける。

※トラッキングの定義および推奨基準については、ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定第1章第1条2.7）および同規定別添6を参照。

2. タイムの計測

スペシャルステージのタイム計測に当たっては、スペシャルステージあるいはスーパースペシャルステージのフィニッシュコントロール側の計時・測定装置としては主装置と副装置のそれぞれ独立した2つ以上の系統を用意し、単一箇所の不具合で両方の装置が機能不全を起こすことがなく、確実に走行タイムが記録されるようにしなければならない。

第10条 燃料補給および充電

オーガナイザーが指定した場所以外での燃料補給、充電は認められない。

なお、FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項に準拠することが定められた車両についても、当該年の国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第1章「一般規定」第8条「燃料」の項が適用される。

※JN-1車両へ給油は下記の通りとする。

・給油用漏瑚（ジョウゴ）は車載せず、サービス員が給油所まで持参すること。（サービス員とは、競技会に登録している者を指す。）

・給油の際は安全上の理由により、サービス員最大2名まで補助することができる。この作業に当たる者は火災のリスクに対して適切な服装で臨まなければならない。最低条件とし

て腕および脚を完全に覆う被服、足を完全に覆う靴（サンダル等不可）で、手袋を着用しなければならない。

- ・なお、サービス員は給油以外のアシストは禁止される。

第11条 リスタート（再出走）

- 1) 各レグにおいて競技から離脱した参加者は以下を条件に次レグへの出走が許される。
オーガナイザーが指定する時刻までに再車両検査に合格すること。ただし、リスタートを希望する場合は、車両の移動の為に必要な作業を除き、レグ離脱の時点から技術委員長が認めるまで車両に対する整備作業を行ってはならない。
- 2) リスタートのタイムペナルティー
 - (1) リスタートする全てのクルーにはタイムペナルティーが課される。このペナルティーは、完走できなかったスペシャルステージあるいはスーパースペシャルステージ1本ごとに10分とする。
 - (2) このタイムペナルティーは走行しなかったそれぞれのスペシャルステージあるいはスーパースペシャルステージの、当該車両と同じクラスの最速タイムに加算するものとし、さらにクルーがレグ離脱したスペシャルステージあるいはスーパースペシャルステージもこれに含むものとする。同じクラスに完走した車両がない場合のタイムペナルティーを加算する基準タイムは、審査委員会が適切だと考える他のクラスの最速タイムを用いることとする。
- 3) レグの最後のスペシャルステージあるいはスーパースペシャルステージの走行後にレグを離脱した場合、当該スペシャルステージあるいはスーパースペシャルステージにおいて自身が記録したタイムに対して（1）のタイムペナルティーが加算される。

第12条 環境保護

1. 参加者は、自らに割り当てられたサービスパーク内の区画の地面を保護するために、油などを通さないシートを用意し、車両の整備作業を行う場所に敷いて使用しなければならない。
2. 廃棄物の処理はオーガナイザーの指示に従い、大気汚染等も含めて周辺環境の保護には最大限の努力をしなければならない。

第13条 公衆の安全

サービスパークやセレモニアルスタート会場など、競技車両の走行と一般観客の動きが近接する場所においては、オーガナイザーは、可能な限り柵やテープなどで車両と観客の動線を仕切るか、警備・誘導担当者を配置して安全を確保するなどした上で、適切な場合にはホイッスルなどを使用して車両の接近を警告し、安全の確保と円滑な競技運営に努めなければならない。

第14条 競技結果

オーガナイザーは各スペシャルステージ終了後に速報タイムを、レグの終了後にはレグ毎の競技成績を、それぞれ発表しなければならない。

第4章 競技会の成立、延期、中止、または短縮

第15条 競技会の成立、延期、中止、または短縮

- 1) 保安上または不可抗力のため競技会実施あるいは続行が困難になった場合、競技会審査委員会の決定により競技会の延期、中止または短縮を行う場合がある。
- 2) 競技会の延期のため参加者が出場できない場合、または中止の場合は参加料を返還する。ただし、天災地変の場合はこの限りではない。

第5章 賞典

第16条 賞典

- 1) J A F 賞：全クラスの1位～3位に対してJ A F 楯が授与される。ただし、当該年の日本ラリー選手権規定第4条1. および2. に従い当該クラスが成立していること。
- 2) オーガナイザー賞：オーガナイザーが独自に設定する副賞を指し、当該競技会の特別規則に内容を記載すること。
- 3) 表彰対象者が表彰式に欠席した場合には、表彰を放棄したものとして、オーガナイザーの用意した副賞は授与されない。

第17条 賞の授与（暫定表彰）および年間表彰

- 1) 全日本選手権各大会における賞の授与（暫定表彰）は、以下のとおり実施されなければならない。
 - (1) 優勝者への賞典授与は、J A F 会長あるいは大会会長（または名誉会長）が行うものとする。いずれも参加不可能な場合は、オーガナイザー代表が行うこと。
 - (2) 2位および3位の賞典授与は、上記（1）で授与者となっている場合を除きオーガナイザー代表が行うものとする。
 - (3) 諸事情により、上記（1）および／または（2）が不可能な場合は、組織委員長が適切な代行者を選出すること。なおこの場合、競技会審査委員は除かれる。
- 2) 選手権保持者および上位6位までの入賞者は、当該年のJ A F モータースポーツ表彰式に出席すること。

第6章 本統一規則の解釈および施行

第18条 本統一規則の解釈

競技会中に本統一規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会が決定する。

第19条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

- 1) 本統一規則は、本競技会に適用されるもので参加受付と同時に有効となる。
- 2) 本統一規則に記載されていない事項については、J A F 国内競技規則とその細則、およびF I A 国際モータースポーツ競技規則とその付則に準拠する。
- 3) 本統一規則発行後、J A F において決定され公示された事項は、すべての規則に優先する。

以上